

案件概要書

2014年4月22日

国際協力機構アフリカ部アフリカ第四課

1. 案件名 (国名)

国名：ベナン共和国

案件名：グラスエ市及びダッサズメ市における地下水を活用した飲料水供給計画

(Projet d'approvisionnement en eau potable des communes de Glazoué et de Dassa-Zoumé)

2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における給水セクターの開発実績（現状）と課題

ベナン政府は、これまでミレニアム開発目標達成のための取組を着実に実施してきており、全国給水率は、57%（1990年）から66.3%（2008年）に改善した。他方、当国の全人口の約7割が居住する地方部における給水率は、35.2%（2002年）から55.1%（2009年）に改善しているものの、依然として低い水準にある。

本計画対象地域であるベナン中部地域は、硬質な基盤岩が広範囲に分布しており、地盤の掘削には多額の費用がかかるため、地下水を利用が困難であり、これまで表流水（沼や川に貯まる水）を利用してきた。しかしながら、これら表流水は濾過及び浄水作業が行われていない。そのため、不衛生な水による水因性疾患の発生や、水汲み労働による子どもの就学困難等、様々な問題が発生している。

対象地域の中核都市であるグラスエ市及びダッサズメ市は地方中核都市であり、人口増加率も3%であり水の利用需要も高い（グラスエ市人口12.3万人、ダッサズメ市人口11.2万人（2013年、ベナン国立統計機関））。そのため両市の給水率はそれぞれ34%、28%（2013年、SONEB）に留まっており、人口増加に伴う給水率改善及び安全な水へのアクセス確保が早急に対応すべき課題となっている。

(2) 当該国における給水セクターの開発政策と本事業の位置づけ及び必要性

ベナンは、国家開発計画「貧困削減のための成長戦略（SCRIP 2011-2015）」において、安全な水へのアクセス改善を重要課題として掲げ、これまで右課題解決に向けた取組を実施している。本件対象地域においては、多目的ダム建設を前提としたウエメ側流域における複数の表流水開発計画が策定されており、2020年に実現することを目指しているものの、同多目的ダム建設に係る環境社会配慮の観点及び資金調達の観点から、進展は困難であり実現の目処は立っていない。

本計画は、対象地域における人口増加に対応する給水需要及び安全な水へのアクセス改善に応えるため、管路式給水施設を整備するものであり、実施の意義は高い。

(3) 給水セクターに対する我が国の援助方針

我が国は、対ベナン共和国援助方針の大目標において、「国民の生活改善に貢献する持続的成長及び貧困削減支援」を掲げており、本計画は右方針に整合する。ま

た、我が国は、これまで他地域において6回にわたる地下水及び村落給水計画を無償資金協力において実施しており、人力ポンプ付深井戸（レベル1）及び小規模給水施設（レベル2）を約1,100か所建設する等、当国における安全な水へのアクセス改善に向けた支援を実施してきた。

ミレニアム開発目標では、2015年までに安全な飲料水及び衛生施設を継続的に利用できない人々の割合を半減させることを目指しており、本計画は右目標の達成にも貢献する。また、TICAD V「横浜行動計画」では、1,000万人に対する安全な水及び衛生へのアクセスを掲げており、我が国の対アフリカ支援方針とも整合するものである。

(4) 他の援助機関の対応

- ・オランダ：「ウエメ川流域水資源管理・開発マスタープラン（SDAGE）」において、ベナン中部地方の灌漑、給水、水力発電等、大型多目的ダムを含む地域の表流水開発計画を策定している。
- ・ドイツ（GIZ 及び KfW）：「5 給水システムによる 9 都市給水改善予見調査」において、ウエメ川からの取水による表流水の都市供給計画を策定している。
- ・ベナン国政府（バスケットファンド（ドイツ、オランダ等が拠出）による出資）：「サベ・グラズエ・ダッサズメ及び周辺地域飲料水供給改善のための補完的フィージビリティ調査」を実施し、ダム建設を通じた3都市給水計画を策定している。

3. 事業概要

(1) 事業の目的

本計画は、グラズエ市及びダッサズメ市において、管路式給水施設を建設し、水管理組織の運営・維持管理体制を向上することにより、対象地域における給水率の改善及び安全な水の持続的な供給を図る。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名

コリーヌ県グラズエ市及びダッサズメ市

(3) 事業概要

- 1) 土木工事、調達機器等の内容：地下水を水源とした管路系給水施設の整備（なお、地質、水脈及び水質等については協力準備調査において確認する）。
- 2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容：施設/機材の運営・維持管理等に係る技術指導の要否・内容を協力準備調査により検討する。
- 3) 調達・施工方法：協力準備調査にて確認。

(4) 事業実施体制

実施機関は、エネルギー・石油鉱山探査・水利・再生可能エネルギー開発省水総局（DG-Eau）、カウンターパートはベナン水公社（SONEB）。

(5) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

- ① カテゴリ分類：B

- ② カテゴリ分類の根拠：本事業は「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010年4月公布）に掲げる「影響を及ぼしやすいセクター・特性及び影響を受けやすい地域」に該当せず、環境への望ましくない影響は重大でないと判断されるため。
- 2) 貧困削減促進等：本件実施により、対象地域の貧困削減促進が期待できる。
- (6) 他スキーム、他ドナー、他案件等との連携：対象地域において、独、蘭、ベナン政府がそれぞれ表流水開発計画を策定しているところ、本計画との重複を避けるため、情報共有を行い、本計画実施に係る合意を得る。
- (7) その他特記事項：協力準備調査において地質、水脈及び水質に係る確認等を行うため井戸試掘を実施し、対象地域における人口増加率、地理的条件等に鑑み、適切な施設建設サイトを選定する。

4. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

(1) 類似案件の評価結果

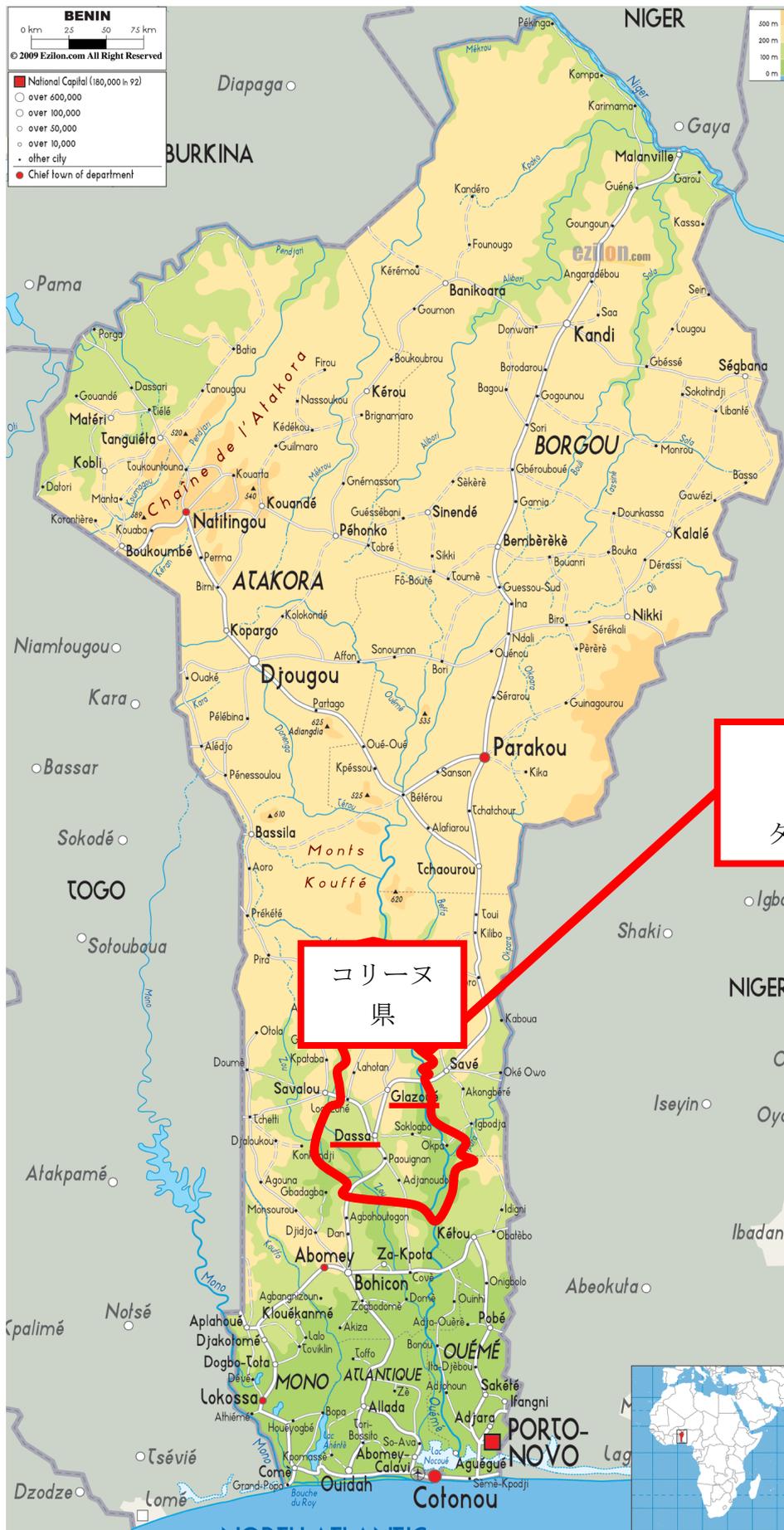
これまでベナンにおいて実施してきた給水計画は、いずれも深井戸の整備であり、本計画で実施される管路式給水施設の整備と異なるものである。同じ管路式給水施設としては、ザンビア「ルアプラ州地下水開発計画」の評価等では、雨季（11月～3月）中の施工による事業の遅れが指摘されており、適切な工程計画および施工監理が必要である。また料金徴収方及び給水設備に係る運営・維持管理等についても、協力準備調査において確認が必要である。

(2) 本計画への教訓

本計画では上記教訓をふまえ、雨季の施工スケジュールや掘削機材の搬入経路等を確認の上、実行可能な工程を検討する。また料金徴収の金額及び方法等についても、協力準備調査において住民の支払い能力及び水道当局等の実施能力に係る確認を行う。

以上

[別添資料] 地図



グラスエ市
及び
ダッサズメ市

コリーヌ
県